

施政方針に対する 代表質問 (要旨)

全文は板橋区議会ホームページに掲載します



元山 芳行
(自 民 党)

未来をほぐむあたたかいま
ちをめぐらして

【質問】①子どもの貧困対策について組織的に対応する予定は。また、対処する組織体と作業工程は。②子どもの貧困対策の基本理念、基本姿勢とその内容は。③文科省は子どもの貧困対策の総合的な推進として、学校をプラットフォームとした対応を示している。学校教育における学力保障と進路支援について今後の対応は。④教育支援センターへのスクールソーシャルワーカー配置後の対応状況は。⑤国は貧困対策としてスクールソーシャルワーカーの重点加配を進めている。区として現在の非常勤職員4名体制から、加配や常勤体制の必要性についてどのように考えているか。

【区長】①子どもの貧困対策連絡調整会議を設け、情報共有や施策事業の調整・検討を行い、基本施策・主要事業などをまとめた「いたばし子ども夢つむぐプロジェクト」を立ち上げた。今後はこのプロジェクトに基づき、施策事業を展開していく。②子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることがないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖しないよう、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長する板橋の実現をめざす。プロジェクトでは4つの基本施策と76の事業を総合的・横断的に展開する。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①28年5月の児童福祉法改正により、特別区においても児童相談所の設置が可能となり、区長はいち早く児童相談所の設置を打ち出した。用地取得から設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①28年5月の児童福祉法改正により、特別区においても児童相談所の設置が可能となり、区長はいち早く児童相談所の設置を打ち出した。用地取得から設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。

【質問】①子どもが安心して生活できる環境を確保するために、児童相談所や児童発達支援センターの設置や、児童相談所からの設置まで多額の投資が必要と思われるが、財政上の優先順位の最優先に挙げられている理由は。②都との実務協議の進捗状況を見ると、区の移管作業はかなりハイスピードになっているようだがその理由は。③区内2か所のまなぼとで実施している中高生勉強会を今後5か所に拡充するほか、板橋区版英語村の開設などを予定している。また、進路支援の充実として、すべての小・中学校で自分らしい生き方を実現するために必要な力をつけるキャリア教育を進めている。④学校からの派遣要請を受け、27年度は84名、28年度は1月現在44名の児童・生徒とその保護者の支援にあたっている。⑤貧困・虐待への組織的な対応が期待される中、スクールソーシャルワーカーの役割の重要性は高まっており、29年度は2名増員し6名で対応する。また、現在の特別区の採用制度では、スクールソーシャルワーカーの専門性に特化した採用は困難であり、非常勤職員で対応していきたい。



本会議の様子



中野くにひこ
(公 明 党)

財政運営について問う

【質問】区における27年度の経常収支比率は、23区中3番目の高さであり、財政の自由裁量幅が窮屈である。民間からの投資により行政サービスを行い、その成果に応じた配当を行う「ソーシャルインパクトボンド」の手法は、行政コストの削減と、革新的な公共サービスの提供が可能になることから、近年注目されている。区の財政運営の一つの方策として、前向きに研究すべきと考えられるが、見解は。

【質問】①運動や検診などを行った人に対してポイントを付与し、商品券などに交換する健康ポイント制度は、運動への無関心層を掘り起こし、スポーツで住民の健康を促進することから、医療費の削減効果が期待されており、制度を導入する自治体が増えている。区としても制度を取り入れるべきと考えられるが、見解は。

【質問】①公立学校のトイレの洋式化については、小・中学校の校舎において3千925基のうち、2千804基まで済んでいる。各学校に必ず洋式トイレが設置されている洋式化率については、80%を目標としている。②増改築や大規模改修を行う際に、オストメイトに対応しただれでもトイレを新設しており、21校で設置済みである。今後、だれでもトイレの設置や、ストーマ器具などの洗浄が可能な設備などの設置についても検討する。



オストメイト対応トイレ

(3面に続く)